

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 25 年 1 月 31 日 (2013.1.31)

【公開番号】特開 2011-121314 (P2011-121314A)
 【公開日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-025
 【出願番号】特願 2009-281955 (P2009-281955)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 12 月 11 日 (2012.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

そのため本発明の画像処理方法は、インクを付与する記録ヘッドと、記録媒体と、の少なくとも 1 回の相対移動により前記記録媒体上の単位領域に画像を記録するための画像処理パラメータを決定するための画像処理方法において、第 1 の回数の前記相対移動により前記単位領域に対して画像を記録する第 1 の記録モードを実行することによって記録された、前記単位領域に対するインク付与量がそれぞれ異なる複数の確認パターンのうち、少なくとも 1 つの前記確認パターンを示す情報を取得する取得工程と、前記取得工程によって取得された前記情報に基づいて、前記第 1 の回数とは異なる第 2 の回数の前記相対移動により前記単位領域に対して画像を記録する第 2 の記録モードを実行するための画像処理パラメータを決定する決定工程と、を備えていることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明の画像処理方法は、第 1 の回数の前記相対移動により前記単位領域に対して画像を記録する第 1 の記録モードを実行することによって記録された、前記単位領域に対するインク付与量がそれぞれ異なる複数の確認パターンのうち、少なくとも 1 つの前記確認パターンを示す情報を取得する取得工程と、前記取得工程によって取得された前記情報に基づいて、前記第 1 の回数とは異なる第 2 の回数の前記相対移動により前記単位領域に対して画像を記録する第 2 の記録モードを実行するための画像処理パラメータを決定する決定工程と、を備えている。これによって、全記録モードの打込み量を、時間とコストを節約して決定する画像処理方法を実現することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インクを付与する記録ヘッドと、記録媒体と、の少なくとも 1 回の相対移動により前記記録媒体上の単位領域に画像を記録するための画像処理パラメータを決定するための画像処理方法において、

第 1 の回数の前記相対移動により前記単位領域に対して画像を記録する第 1 の記録モードを実行することによって記録された、前記単位領域に対するインク付与量がそれぞれ異なる複数の確認パターンのうち、少なくとも 1 つの前記確認パターンを示す情報を取得する取得工程と、

前記取得工程によって取得された前記情報に基づいて、前記第 1 の回数とは異なる第 2 の回数の前記相対移動により前記単位領域に対して画像を記録する第 2 の記録モードを実行するための画像処理パラメータを決定する決定工程と、

を備えていることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 2】

前記決定工程において、前記複数の確認パターンを記録した前記記録モードを実行するための画像処理パラメータをさらに決定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理方法。

【請求項 3】

前記決定工程において、予め記録装置に登録されている所定の記録媒体に対して前記第 2 記録モードを実行するための画像処理パラメータを、前記複数の確認パターンが記録された前記記録媒体に対して前記第 2 記録モードを実行するための画像処理パラメータとして決定可能であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理方法。

【請求項 4】

前記画像処理パラメータは、前記単位領域に対するインク付与量に関する情報を含んでいることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理方法。

【請求項 5】

前記取得工程において取得される前記情報は、ユーザによって選択された前記確認パターンを示す情報であることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理方法。

【請求項 6】

前記取得工程において取得される前記情報は、画像読取り装置が読取った値によって選択された前記確認パターンを示す情報であることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理方法。

【請求項 7】

前記複数の確認パターンは、前記所定の記録媒体に対して前記第 1 記録モードを実行するための画像処理パラメータを用いて記録されたパターンを含むことを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理方法。

【請求項 8】

前記所定の記録媒体は、予め前記記録装置に登録されている複数の記録媒体の中からユーザにより選択された記録媒体であることを特徴とする請求項 3 または 7 に記載の画像処理方法。

【請求項 9】

前記第 1 記録モードは、前記第 1 記録モードを含む複数の記録モードの中からユーザにより選択された記録モードであることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の画像処理方法。

【請求項 10】

インクを付与する記録ヘッドと、記録媒体と、の少なくとも 1 回の相対移動により前記記録媒体上の単位領域に画像を記録するための画像処理パラメータを決定するための画像処理装置であって、

第 1 の回数の前記相対移動により前記単位領域に対して画像を記録する第 1 の記録モードを実行することによって記録された、前記単位領域に対するインク付与量がそれぞれ異

なる複数の確認パターンのうち、少なくとも１つの前記確認パターンを示す情報を取得する取得手段と、

前記取得工程によって取得された前記情報に基づいて、前記第１の回数とは異なる第２の回数の前記相対移動により前記単位領域に対して画像を記録する第２の記録モードを実行するための画像処理パラメータを決定する決定手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項１１】

前記決定手段は、前記複数の確認パターンを記録した前記記録モードを実行するための画像処理パラメータをさらに決定することを特徴とする請求項１０に記載の画像処理装置。

【請求項１２】

前記決定手段は、予め記録装置に登録されている所定の記録媒体に対して前記第２記録モードを実行するための画像処理パラメータを、前記複数の確認パターンが記録された前記記録媒体に対して前記第２記録モードを実行するための画像処理パラメータとして決定可能であることを特徴とする請求項１０または１１に記載の画像処理装置。

【請求項１３】

前記画像処理パラメータは、前記単位領域に対するインク付与量に関する情報を含んでいることを特徴とする請求項１０から１２のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項１４】

前記取得手段が取得する前記情報は、ユーザによって選択された前記確認パターンを示す情報であることを特徴とする請求項１０から１３のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項１５】

前記取得手段が取得する前記情報は、画像読取り装置が読取った値によって選択された前記確認パターンを示す情報であることを特徴とする請求項１０から１３のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項１６】

前記複数の確認パターンは、前記所定の記録媒体に対して前記第１記録モードを実行するための画像処理パラメータを用いて記録されたパターンを含むことを特徴とする請求項１２に記載の画像処理装置。

【請求項１７】

前記所定の記録媒体は、予め前記記録装置に登録されている複数の記録媒体の中からユーザにより選択された記録媒体であることを特徴とする請求項１２または１６に記載の画像処理装置。

【請求項１８】

前記第１記録モードは、前記第１記録モードを含む複数の記録モードの中からユーザにより選択された記録モードであることを特徴とする請求項１０から１７のいずれか１項に記載の画像処理装置。